

トラウマ・インフォームド・ケアを通じた 事例の検討から看護の実践を考える

【日時】2018年 12月21日（金）10:00～16:00

【会場】一般社団法人 日本精神科看護協会

東京都港区港南2-12-33品川キャナルビル7F

精神科医療において、薬物療法は治療の軸として成し得るのだろうか。

そもそも本来、精神科の薬物療法は「症状、あるいは症状からくる苦痛の緩和・軽減」であるという考え方が基本であるはずだが、それは建て前なのだろうか。

今回の研修では、こうした疑問・ジレンマに対し、実践事例を通じた再検討から、看護場面での現象を俯瞰する力を養う場としたい。

講師：医療法人聖和錦秀会 阪和いずみ病院 田邊友也先生
東都医療大学 精神看護学 教授 辻脇邦彦先生

- ▶ 9:30～ 9:55 受け付け
- ▶ 10:00～12:00 講義
- ▶ 12:00～13:00 休憩
- ▶ 13:00～16:00 講義・トークセッション
- ▶ 16:00 終了

【対象】 精神科認定看護師の会会員 受講料 会の助成により無料
非会員 受講料 2,000 円（当日徴収）

※【看護師の方であれば、どなたでもご参加いただけます】

【お問い合わせ】精神科認定看護師の会 関東ブロック

代表：長嶺真智子（一般財団法人精神医学研究所附属 東京武蔵野病院）

E-mail：eyesofyoung0831@yahoo.co.jp

①氏名 ②支部名 ③施設名 ④メールアドレスの記載をお願いします。